

平成28年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 槻田 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成28年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立への取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

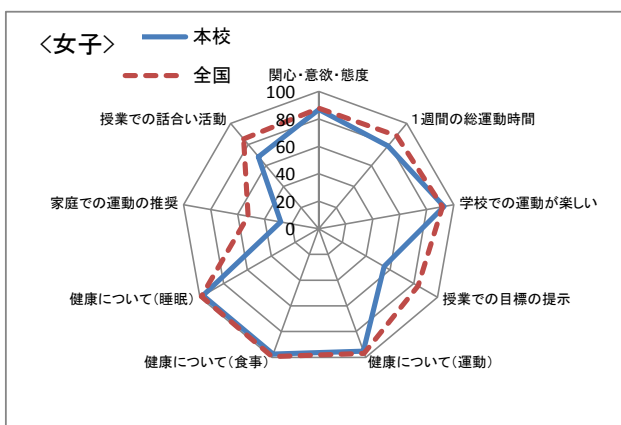
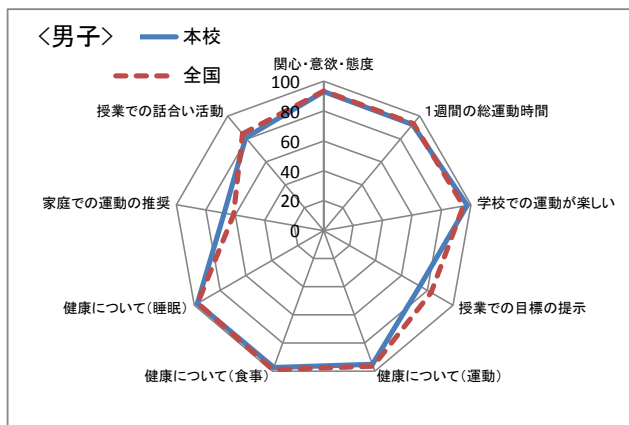
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.47	19.67	32.87	41.97	51.89	9.38	151.39	22.42	53.92
本市	16.78	19.79	31.93	41.14	51.08	9.41	151.32	23.82	53.77
全国平均以上の種目	○	○		○	○		○	○	○

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.13	18.60	37.21	40.06	41.29	9.61	145.31	13.88	55.54
本市	16.48	18.34	35.88	39.07	40.17	9.67	145.18	13.97	54.74
全国平均以上の種目	○	○	○	○	○		○	○	○

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

男女ともに、「学校での運動が楽しい」という項目には、9割以上の児童が肯定的な回答をしており、健康を維持するために、食事・睡眠・運動が大切なことも高い水準で理解している。だが、「授業での目標の提示」の項目には、男女の意識に大きな差が見られる。また、一週間の総運動時間や家庭での運動の推奨にも、顕著な差が見られる。体育の授業を通して、目的意識をもち、運動の楽しさを仲間と共有する体験を習慣化することが必要。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

運動することを通して、楽しみながら体の調子を高めたり、友達と豊かに交流したりすることができるように、ペアやグループでの学習を取り入れた活動を行う。また、学ぶ意義を実感できるように、上達のステップを明確にした単元構成を行うとともに、「何ができるようになったか」「どんなことに役立てられそうか」を意識付けの振り返りを行う。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

いきいきスポーツタイムの内容が、体力向上に結びついたかどうかを検討し、取組の内容を工夫改善していく。年間を通じて、手軽に取り組める運動や律動的な運動に取り組ませ、体を動かす楽しさや心地よさを味わう体験を積ませる。自分の体の状態に気付き、高めたい体力や運動を選択して実行できるようなカードを工夫する。